

情報公開用文書（足柄上病院で実施する医学系研究）

1. 研究課題名

繰り返す S 状結腸軸捻転症に対する内視鏡的 S 状結腸瘻造設術について

2. 研究の対象

施設入所中の患者（97 歳）。

3. 研究方法

2 年ほど前から S 状結腸軸捻転症を 2-3 ヶ月に 1 回の頻度で繰り返しており、その都度近隣の A 病院に入院し内視鏡的整復術を行っていた。根治的手術についても検討されたが、高齢であり合併症（不整脈）もあることから適応外と判断された。

今年 8 月から週 1 回の頻度で S 状結腸軸捻転症を繰り返し、10 月 2 日に A 病院を救急受診した際に内視鏡的に整復できなかった。同院でこれ以上の治療はできないとの判断となり、見取り目的で施設戻りとなった。現在禁食・少量点滴で様子を見ており、このままでは 1 ヶ月以内に亡くなってもおかしくない。

以前当院で同様の患者に対して内視鏡的 S 状結腸瘻を造設し軽快した経験があり、当時当院に勤務しており、現在は当該患者の施設嘱託医をしている医師から國司へ相談があった。

同治療は本来胃瘻を造設する際に使用するカテーテルを S 状結腸に挿入するという取扱説明書に記載のない使用方法であり、保険適応とはなっていない処置である。ただし当院では 10 年前に 1 例の施工実績があり、同治療の症例報告は複数存在する。また國司は経験症例を論文化している。

当該患者の現在の状況を考えると、病状を改善させ、本人が希望している食事を再開するためには内視鏡的 S 状結腸瘻造設術は検討されるべき処置である。

嘱託医から治療リスクについては十分説明されており、当院からも保険適用外処置であること、リスクがあることを十分説明した上で、家族が希望した場合に限り施工する予定である（本人は認知症があり、判断能力はないと伝え聞いている）。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

日本消化器内視鏡学会誌

5. 外部への試料・情報の提供

登録された患者さんのデータは、当施設の研究責任者にて厳重に保管・管理されます。学会発表等に使用させていただく可能性もありますが患者さん個人が特定されることはありません。

6. 研究組織

研究機関名	責任者	職名	住所	連絡先
神奈川県立足柄上病院	國司 洋佑	医師	〒258-0003 足柄上郡松田町 松田惣領 866-1	0465-83-0351

7. 問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問合せ下さい。

照会先および研究への利用を希望されない場合の連絡先：

研究責任者：神奈川県立足柄上病院 消化器内科 國司 洋佑

住所：〒258-0003 足柄上郡松田町松田惣領 866-1

電話番号：0465-83-0351